

会の活動



里山に来て

茨城県土浦市宍塚には「宍塚大池」を囲むように雑木林や草地、田んぼや畑、小川や湿地など、さまざまな地形の100haほどの「里山」が広がり、多くの生き物たちをはぐむ自然の宝庫となっています。近隣のつくば市天王池周辺の地域を含めると200ha近くになります。東京から筑波山の麓までで最も広い、水辺のある里山です。

ここは市街地に隣接し、多くの人々にとって身近な自然と憩いの場になっています。また、国指定史跡の上高津貝塚に代表される遺跡群や文化財が点在し、里山の暮らしの知恵が今も受け継がれています。

宍塚の自然と歴史の会は1989年の発足以来、開発計画もあるこの貴重な里山を保全し、宍塚から世界に向けて日本のSATOYAMAを発信する活動を続けています。



▲2005年 国土地理院の空中写真



里山保全作業 (里山さわやか隊)

- 林の整美 ● 植生管理
 - 散策路の整美
 - 炭焼き
- 第2-4日曜

観察会

- テーマ観察会 原則第1日曜
- 土曜観察会 毎週土曜
- 夜の観察会
- 日本野鳥の会茨城県合同観察会 第3土曜

宍塚米オーナー制

- 谷津田耕作農家の支援
- 宍塚米の産直

田んぼ

- 自然農田んぼ塾
- 田んぼの学校(子ども中心)
- さなぶり、かかし作り、かかし送り、ならせ餅
- 農地・水・環境保全会

農園・果樹園

- 畑の耕作(耕作者募集)
- 大豆栽培、味噌づくり(野良クラブ)

池・湿地の保全

- 外来生物の取り除き
- 宍塚大池由来のオニバスなど水生植物系統保存

歴史部会

- 里山の暮らしの聞き書き
- 歴史と文化の学習・資料収集



- オニバスサミット(1992年)
- 里山サミット(1993年)
- サンバサミット(1994年)
- ため池シンポ(2004年)
- モニタリングシンポ(2006年)
- (財)日本自然保護協会・沼田真賞(2005年)
- ふるさとづくり内閣総理大臣賞(2005年)
- 日本水大賞グランプリ(2010年)
- 田園再生コンクール農林水産大臣賞(2012年)

凡例 ● 古墳 ● 遺跡 ● 宍塚の自然と歴史の会の主な活動場所

● 宍塚の里山の多くが私有地です。観察路以外は入らないようにしましょう。会が耕作している田畑、下草刈をしている林などは、地権者の協力を得て里山の利用を図っています。